



Washington Japanese Language School

(祝) 60 周年 ワシントン日本語学校

はなみずき

mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>

2018 年 11 月 3 日発行 第 25 号

校長 佐藤 良明

[ワシントン日本語学校事務局]

HOT LINE (301)962-7415

TEL (301)962-7410

FAX (301)962-7411



日米の学習を生かして

平成32年(2020年)度に小学校から新しい学習指導要領が全面実施されます。平成30・31年度の2年間は、移行期間となり、全面実施に向けて学習内容が少しずつ変わっています。

日本や在外教育施設の学校では、学習指導要領の基準に合格した教科書を使って授業を行っています。これらの授業で扱っている内容は、共通で、本校も学習指導要領(何をどのくらい学ぶかという「教育内容」や「時間数」について、文部科学省が定めたもの)に沿った教育を補習授業校という条件の中で、一定の水準の教育が受けられるように教育課程を編成し実施しています。

今回の改訂では、「生きる力」を育むために、「何のために学ぶのか」という学習の意義を共有しながら、全校種・全教科等で身につける資質・能力が下記の①②③の3つの柱で再整理されました。

①「何を知っているか」から②「何ができるようになるか」への転換です。そのために③「どのように学ぶか」ということも学習指導要領に明記されることになりました。これが3年ほど前から「アクティブ・ラーニング」という言葉で議論されてきたことですが、「主体的・対話的で深い学び」という言葉になりました。

アクティブ・ラーニングの手法を用いた教育は、現地校で普段から行っていると聞きます。本校の子どもたちは、アメリカの教育の良さと日本の教育の良さを学ぶ事ができます。また、日本では小学校5・6年生から英語が教科として新たに設けられ、年間70時間の英語の授業が始まります。現地校の授業には及びませんが、是非、日本に帰る皆さんは、ここでの学習を生かし、学んだ英語を通して、授業に新しい風を吹き込んで欲しいと思います。



写真は、日本で英語指導助手(AET)として働くJETプログラムに採用されたアメリカ青年の壮行会です。

JET プログラムは、日本の小・中・高校の英語授業に新しい風を吹き込んでいます。(在米日本大使館にて)

1958年(昭和33年)

本校が開校して60年目。現在、世界に203校ある補習授業校の中で、一番最初に誕生した本校が、このように長い間、継続し発展できたのは、ひとえに本校の教育に対しご理解ご協力をいただいた保護者の皆様、また、その期待に応えるべく熱心に学ぶ児童生徒、そして、常に温かくお力添えをいただいた関係者の皆様のおかげと心より感謝申し上げます。

さて、開校当時の1958年の日本はどのような時代であったのか調べてみました。

NHK「連続テレビ小説『まんぷく』」でモデルとなっている日清食品の創業者・安藤百福(ももふく)さんとその妻・仁子(まさこ)さんは、世界発のインスタントラーメン「即席チキンラーメン」を発明し商品化しました。日本で生まれたインスタントラーメンも誕生して60年、今では様々な国の食文化と融合して、その国独自のインスタントラーメンとして根付いています。

東京のシンボル「東京タワー」が12月に完成したのもこの年。パリのエッフェル塔よりも高いということで、世界各国に衝撃を与えたそうです。

また、この年に大流行をしたおもちゃがありました。アメリカで作られニューヨークで大当たりした「フラフープ」が、日本でも爆発的なブームになりました。私も親にフラフープを買ってもらい夢中になって遊んだのを覚えています。

日本の自動車産業も、スーパーカブやスバル360などのヒット商品を生み出しました。あのミスター巨人軍、長嶋茂雄が入団したのもこの年です。まだまだいろいろありますが、世の中は岩戸景気と呼ばれ、高度成長路線をまっしぐらに進み始めていった頃でした。



後期運営委員会始動

10月20日に開催されました年次総会において、運営委員の交代があり、本日、新体制による後期の運営委員会が開催されます。

これまで、本校教育にご尽力されました横堀副委員長はじめ委員の皆様にご感謝申し上げますとともに、新たに運営委員としての重責を担っていただきます皆様を歓迎し、教職員共々協力して、実りある教育活動の推進に努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

管理運営委員の交代 (敬称略)

退任委員		新任委員	
副委員長	横堀 将之	副委員長	廣吉 浩二
低学年代表	我妻 佳夏	低学年代表	マコ沖野明子
中学年代表	アメル 友子	中学年代表	金城 由佳子
高学年代表	ビュター 一枝	高学年代表	今井 美智
教育人事	小池千夏子	教育人事	小野莉彩佳
教育人事	樋口 敦子	教育人事	ペイカー 浩子

2018 年前期から継続の管理運営委員氏名

委員長	大滝 学	総務部	松井 俊久
教育人事部長	戸田 一郎	総務部	森本 樹
教育人事	伊藤 智彰	財務部長	杉本 展康
教育人事	山岸 由紀	財務部	高田 潤子
総務部長	馬場 大輔	広報部長	吉野 麗子
総務部	オーバー 百代	広報部	佐藤みゆき
総務部	金澤有里子	(敬称略)	



新採用教員紹介

新採用

高松杏子(たかまつきょうこ) 先生



高松先生は、ニュージャージー補習授業校で、中学1年生の数学を担当されていました。

10月20から11月3日まで宮国先生の代講としてお勤めいただいております。

11月10日以降は、代講も兼ねた小学部を中心に国語補助として担当いただきます。どうかよろしくお願いいたします。尚、放課後教室の「瞬算そろばん」の先生として活躍しています。

60周年記念教育講演会

開校60周年記念事業の一環として、下記「教育講演会」を開催いたします。

講師は、大江耕太郎 様、馬場大輔 様です。お二人とも本校の保護者ですが、日本大使館にお勤めで、日本では文部科学省に所属し、教育行政等の仕事をしておられました。馬場 様は、管理運営委員会で総務部長としてご尽力をいただいております。

講演の主な内容は、新学習指導要領の実施が2年後に迫る中、「日本の教育のこれからの方向性と補習授業校の役割」など、お話していただけるものと存じます。

対象は、保護者の皆様ですが、この講演会で得たことが、家庭へそして児童生徒へと伝わり、今後の家庭教育、子ども達の学ぶ意欲へとつながることと思います。

御多忙の折とは存じますが、是非ともご参加いただきますようお願い申し上げます。

- 1 日時 11月17日 午後2時～午後3時
- 2 場所 カフェテリア 1
- 3 講師 在アメリカ合衆国日本国大使館
一等書記官 大江 耕太郎 氏
一等書記官 馬場 大輔 氏

中高説明会

10月20日、来年度中学部、高等部に進級を希望する保護者と生徒を対象に、説明会を開催しました。中高の教科内容と学習のポイントについて担当者より説明がありました。

